五感で感じるシマ歩き

巡る ぐるぐる 大和村

やまとそん

鹿児島県奄美大島
大和村観光ガイドブック

無料

2020年度版

国直集落　フクギのトンネル

目次

1 イントロダクション
海と山に抱かれた礼讃の宝石
3 集落紹介
国直
湯湾釜
津名久
思勝
大和浜
大棚
大金久
戸円
名音
志戸勘
今里
15 大和村マップ
17 シマ歩き案内
19 夕日スポット案内
21 コラム
やまとのあゆみ
22 大和村集落まるごと協議会
23 観光スポット
27 自然
28 お土産
29 移住者の声
30 各種情報
アクセス
果樹シーズン・行事・天候
商店・施設連絡先一覧

シマ歩きを楽しむための

5つの心得

其の❶ 挨拶はしっかりと

集落民に出会ったら、驚かせないようゆっくりと
「ウガミンショウラン＝こんにちは」と声をかけましょう。
田舎でもプライベートはあります。
写真を撮るときもしっかりと挨拶をしましょう。

其の❷ ゴミはゴミ箱へ

ゴミはきちんと持ち帰りましょう。
落ちてたゴミも持ち帰ってくれる、
あなたの気持ちが奄美群島の豊かな自然を守ります。

其の❸ どこでも安全運転

ゆっくり時間が流れる奄美大島では、心に余裕をもちスピードを出さず
ゆっくり安全運転を心がけてください。
特に集落内は、よ～りよ～り（ゆっくり）運転してください。

其の❹ いつもニコニコ現金払い

大和村の商店では、カード決済ができません。
お買い物をするときもガソリンを入れるときも現金払いでお願いします。
また、集落の行事などで急なお休みになることもあるので、
目的のお店・施設へ事前に確認しましょう。
ＡＴＭは名音郵便局と大和郵便局（思勝）に設置しています。

其の❺ 別れ際に「アリガッサマアリョウタ」

「アリガッサマアリョウタ＝ありがとうございます」。
優しさに触れたとき、会話をしたとき、どんなときでも
「アリガッサマアリョウタ」でお別れしましょう。

海と山に抱かれた
礼讃の宝石

海に浮かぶ青緑の宝石、奄美大島。
空港から車を走らせ眼に映る、開けた空と水平線。
ふわんと香る南国の甘やかな空気を胸に名瀬の街へ入り、
大浜海浜公園の雄大な眺めの『その先へ』、大和村のはじまりです。
眩い光に煌めく山の濃緑、梢に現れる精悍な野鳥、
樹々から垣間見える、山と海に抱かれた静かな集落。
山道のスロープを滑らかに下り、
めくるめく展開する東シナ海の圧倒的な夕焼けの色あいは、美しい序章です。
母なる海に感動し、振り返ると父なる山が背後から見守っている。
どちらもむせかえる程の命の気配。
野生生物の澄んだ瞳にじっと見つめられているような、
畏敬の念と静かな感謝のこころ。それは人々の智慧や営み、
独自の文化となり、永らくこの土地の血液となり巡っています。
大和村は、奄美の宝石をひとしずく、
両手ですくい上げた様な厳かな感動を携えて、今日も静かに輝いています。

文／小田島 智美

奄美群島

島ではなく“シマ”

奄美では集落のことをシマという。
シマの背後には神山と呼ばれる山があり、
シマの海のはるか彼方には、豊穣をもたらす神の住む国、ネリヤカナヤがあると信じられてきた。
山を越えれば方言が変わり、海を越えれば風景も変わる。
いつまでも変わることのないシマの人々の想いはシマ唄となり、文化となり後世へ伝えられてきた。
自然と寄り添い、敬い、恵みを頂く暮らし。小さなシマに息づく、大切な暮らし。
大事なものを積み重ねてきたシマがここにはあります。

大河ドラマ「西郷どん」ロケ地 国直集落 宮古崎

国　直
くになお

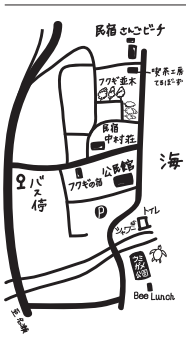
人　口：106人
世帯数：62

いつまでも、このまま

名瀬市街地を出発し、曲がりくねった山道をすいすいと南へ向かって車を走らせる。着いた先は抜けるような青空、きらきら輝く青い海に囲まれた大和村の入り口、国直集落だ。

「いらっしゃい。」と出迎えてくれたのは、笑顔が素敵な 国直育ちの中村 修さん。集落内を案内してもらい、まず驚いたのは家々を取り囲むように植えられ大きく育ったフクギの並木。海からの強い風雨から家々を守り、火災時の延焼を防ぐ為に数十年前に植えられたものが今でも残っているのだという。集落内を歩き、出会ったおばぁちゃんは 開口一番、「ウニ食べらんね？」。思わずすぐに頷く私。着いた先は白い砂浜が眩しい国直海岸。採りたてのウニをどうぞ、どうぞと勧められ、色々な話を聞く事ができた。国直海岸は奄美でも有名なウミガメの産卵スポットで、5月～7月の産卵時期になると、集落全体でウミガメを見守ること。青年団の人たちが農作業を手伝ってくれて、野菜を育てるのが今では生き甲斐になっているということ。

日が暮れ始めると誰が合図したわけでもなく、集落から人が海岸に集まりだし、沈む夕日を見届けながら同じ時を過ごす。聞こえるのは、波の音と、鳥の鳴き声と、人の笑う声だけ。奄美の自然をゆっくりと感じる贅沢。大切にしたい時間が国直集落には溢れていた。



まるごと大和村 HP
amami.org

大和村のアクティビティが
もりだくさん！

【中村 修】
国直生まれ、国直育ち。
島の自然と文化を愛し、「暮らすように旅する観光」をコンセプトにNPO法人TAMASU（タマス）、2019年大和村集落まるごと体験協議会「まるごと大和村」を設立。国直集落はもちろん大和村全体の文化や行事に精通。
旅行中、困ったときに訪れると何でも応えてくれる。

湯湾釜

ゆわんがま

人　口：92人
世帯数：46

幸せの無人販売所

県道79号線をさらに南下すると、道沿いにポツンと可愛らしい無人販売所がある。ここが湯湾釜集落の目印だ。車を停め、すだれの中を覗くと棚いっぱいの色とりどりの野菜たち。フル（にんにくの葉）やアオサ、時には果物が並ぶことだってあるのだとか。集落の方達が自分たちの畑で作った野菜を棚に並べているから全て湯湾釜産。いびつな形だったり、小さかったり大きすぎたり、ちょっとたくさん詰め過ぎてたり、作る人の人柄までなんだかわかるようで見ていて面白い。旬の野菜が百円で買えるもんだから、通りすがりの車が立ち寄っては皆、嬉しそうに買って行く。無人販売所付近は、車の往来があるものの、一歩集落に入るとひっそりとしている湯湾釜集落。

実はこの集落、奄美でもここでしか見ることができない「ムチモレ踊り」という踊りがある。ムチモレ踊りは集落が大火事に見舞われた当時、水利が悪く田んぼの泥を投げて火を消したという言い伝えがあり、踊りの際には田んぼの泥に由来する「カシャ餅」が配られることからムチモレという名前になっていると言われている。

昔から水を大切にしてきた集落、湯湾釜。今日もその大切な水から育った野菜たちが、無人販売所に並べられていることだろう。

【ムチモレ踊り】
ムチモレ＝餅貰い。火災予防や無病息災を願って旧暦の10月16日に行われる踊り。トネヤを振り出しに全世帯を一軒一軒周り、深夜まで踊り明かす。踊り連は、男女問わず、浴衣姿にスカーフや風呂敷で顔を隠した子供や青年の踊り手と、三味線を弾く壮年の歌い手、太鼓をたたく婦人会の唄い手の3グループからなり、屋敷の中庭や玄関先で踊る。スカーフで顔を隠すのは、火事で顔にやけどをしたからなど諸説あり。

【カシャ餅】
上餅粉にヨモギを練り込み、かしゃの葉で包んだ奄美の特産品。ムチモレ踊りでは、ヨモギではなく、サツマイモを入れたカシャ餅が配られる。

津名久
つなぐ

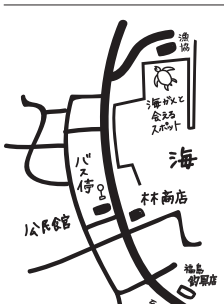
人　口：134人
世帯数：82

自然とこころ、つなぐ場所

沖合150m、大ダコのすみか「蛸（たこ）ごもり」、津名久集落の入り口には一風変わった看板がある。今よりずっと昔、沖合150mにある大きな穴に、長さ50mもある大ダコがいて道行く人をさらっていたという伝説が残っているのがこの場所だ。

かつて、ここは交易が盛んなシマで、遣唐使の乗る船が奄美に来た際に船をつなぐ場所だったことから「津名久（つなぐ）」と呼ばれるようになったと言われている。そんな津名久集落に伝わる話はとてもユーモラスで面白い。他の集落の人から親しみを込めて「津名久ウーバ」と言われ、人懐っこくて話が巧い。例えば、「スコップの頭ほどもある珍しいハブを捕まえた」、「大きな牛がクモの巣にひかかっていた」など、集落の人の話す内容には思わず笑みがこぼれるものばかり。

近頃では、「船のエンジン音を覚え、人に懐いているウミガメがいるんだよ」と集落の人が教えてくれた。ちょっと不安になりながら、実際に港に行くと観光客の手からエサを食べるウミガメの姿。釣りから帰ってくる船のエンジンをいつの間にか覚え、今では満潮時に海の中から顔を出してくるというのだ。海を見渡せばどこまでも広く青く、人に出会えば「こんにちは」と優しい笑顔で挨拶をくれる。自然を愛しみ、訪れる人の心を癒すこの場所にたくさんの人が訪れてきた理由がなんとなくわかった気がした。



【蛸ごもりの看板】

【津名久ウーバ】
「ウーバ」は、大和村の方言で、「話を盛る」こと。

思　勝
おんがち

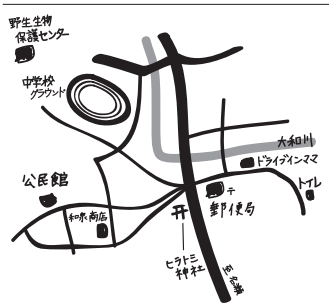
人　口：132人
世帯数：71

はじまりはここから

東シナ海に面する大和村の中で唯一、海に面していない集落が思勝集落だ。ここに、奄美の黒糖製造の始祖と言われる直川智（すなおかわち）を祀った開饒（ひらとよみ）神社がある。今から約４００年前琉球に渡航した直川智は台風に遭い、中国の福建省に漂着。その地でさとうきびの栽培と製糖技術を取得し、帰国後、大和村の地に植え始めたのが奄美の糖業のはじまりだと言われている。甘いものが珍しかった当時、黒糖の製法がこの島に持ち込まれたことは大きな功績だったに違いない。今では製糖に関わる多くの人が各地から訪れる場所になっているという。

また、思勝集落には昔と変わらない製法でミキ作りを行う風習が残っている。ミキ（神酒）は豊年祭などの神事には欠かせないお供え物で、サツマイモや米、砂糖を混ぜて作る伝統的な飲み物だ。長年受け継がれてきた手書きのレシピにはこう書いてあった。「出来上がったミキは容器に入れ、クワズイモの葉で蓋をし、左綱で翌朝まで置く」、「豊年祭の当日の干支から数えてはねる（６番目の）人が蓋をあける」。豊年祭の早朝に行うミキの開封作業にもしきたりがあるのだ。

世代を越えて受け継がれるシマの誇り。その思いこそが、この小さな集落をどこよりも美しく輝かせているのではないだろうか。



【ミキ（神酒）】奄美のミキは、昔から飲まれている発酵飲料。以前は、各家々で作られていた。スーパーや集落内の商店で購入可能。

【はねる】指折り数えた小指が６つ目にはねかえることから、６番目という意味。

大和浜
やまとはま

人　口：244人
世帯数：132

守り、守られて

木漏れ日が照らす山肌に、頂上から流れる水がキラリと光る。ここは大和浜集落の人々が神山として崇めている「滝川山（たきのこやま）」だ。

滝川山は珍しいオキナワウラジロガシが群生している場所だ。板根と呼ばれる板のような大きな根を張り、天に向かって高くそびえ、大きく手を広げたその姿に、思わず「集落を守っているみたい」と声を漏らした。聞くと、古くから集落の人が斜面や山からの恵みの水を守るため、大きな木を切らないように保全してきたという。そのおかげで今では国指定天然記念物 オキナワウラジロガシ林となり地を固め、土砂崩れなどの災害などから集落を守っているといわれている。

また、この集落には高倉が集まった「群倉（ぼれぐら）」と呼ばれる場所が残されている。高倉は主に穀物を貯蔵するための倉庫で、風通しがよく貯蔵物の保管に適し、ねずみの害を防ぐ為に足掛かりをなくすなど趣向をこらした建物だ。火事の災害を避ける為に、民家から離れて建てられ川の近くや田畑の近くでかつてはたくさん見られたようだ。

山を守り、水を守り、自然と共存して初めて自分たちの生活が守られる。ここには大事なものを積み重ねながら、美しいシマを守り続ける人々の想いが溢れている。

【群倉 ボレグラ】
高倉の集まりのこと。
奄美の方言で「群れる」ことを「ボレル」と言う。奄美の高倉は、釘を一本も使用していない。その柔軟な作りのため、台風などの強風でも倒壊しにくい。また、火災時は貫木を外すとすぐに分解できる仕組みになっている。大和村の高倉の多くは屋根部分に宮古崎のリュウキュウチクが使用されている。
右写真は昭和30年頃の群倉。

大　棚
おおだな

人　口：249人
世帯数：148

結ばれる絆

昔ながらの細く曲がりくねった道が多く、まるで迷路のような大棚集落。

ここに文房具、金物、食品に、釣り具など生活に必要なものが全て揃う創立百周年を迎えた「株式会社 大棚商店」がある。店内はレトロな空気感が漂い、和気あいあいとはしゃぐ元気なおばぁちゃんたち。

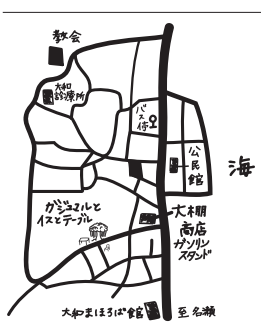
「いつも集落のおじいちゃん、おばぁちゃんが集まって賑やかなんです。」と話すのは大棚商店の川下さん。

実は、数年前に閉店の危機があったものの、今では「結の会」という支えあいの活動を通して、集落の人がお互いにコニュニケーションをとれる場所として活用しているという。毎週木曜日には、豊富な種類の総菜がお手頃価格で購入できたり、お店に来られない集落の方へは配達をしたり、依頼があれば庭の草木の手入れも行っているという。

お年寄りを大切にするように、ここ大棚集落では先輩方が大切に受け継いできた文化や伝統を途絶えさせないようにしている。それが八月踊り保存会だ。今では豊年祭の踊りの際には百名を超える老若男女が集まり祭りを盛り上げるほどになっている。地域の人に支えられ、地域を支えていく仕組み。ここに、お店に来ていたおばぁちゃんの長生きの秘訣を見た気がした。

【曲がりくねった道】
奄美では「魔物は真っ直ぐにしか進む事ができない」と言われている。その魔物から暮らしを守るため、あえて曲がりくねった道を作っていた。大棚集落はその面影が、現在も色濃く残っている。

【豊年祭】
旧暦8月15日もしくは、旧暦9月9日に各集落で行われる五穀豊穣を願う祭り。豊年相撲や八月踊りが見物。



大金久
おおがねく

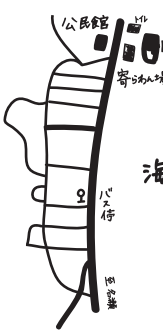
人　口：86人
世帯数：51

アイノコ発祥の地

「アイノコ舟」は奄美ではなじみの深い舟だ。夏の舟漕ぎ競争にも使われていると舟と聞けばわかるかもしれない。実はこのアイノコ舟、大金久集落が発祥の地なのだ。

かつて、奄美大島では安定性が高い反面、速度がなかなか出ない板付(いたつ)け舟が主流だった。一方、沖縄では速度が出る反面、安定性が悪い「サバニ」という舟が主流だった。その当時、大金久に住んでいた船大工がこの両者の良いところだけを取り入れて生み出した舟が「アイノコ」として世に誕生したのだ。

そんな大金久集落では、最近「あいのこ会」という新たな取り組みが始まっている。今までは、公民館が集落の人達の集う場所だったが、もっと交流が生まれる場所を作りたいと婦人部の方々が中心となって誰でも立ち寄れるような場を作った。それが「寄らわん場」だ。夕暮れが近づくと人が集まり出し、宴がはじまりナンコ遊びが始まる。昼時には婦人たちがカレーやうどんなどのお昼ご飯を作り、テーブルを囲ってランチを食べながら他愛のない会話を楽しむ。週末にはフリーマーケットが開催されるなど、集落内外の人たちが気軽に立ち寄れる場になっている。先人たちが伝統的な舟を作ったこの場所で、今また、新たなコミュニティが生まれている。



【ナンコ】
昔から伝わる酒席の遊び。2名がお互いに3本のナンコ珠（約10cmの木の棒）を後ろ手に隠し、片手に何本か持って出し合い、2人が持っているナンコ珠の合計を当て合う遊び。

【アイノコ舟の舟漕ぎ大会】

戸　円

とえん

人　口：114人
世帯数：97

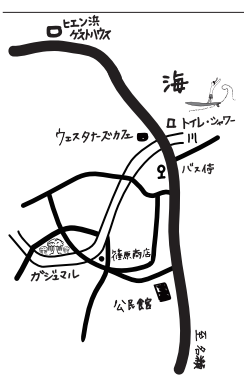
風のシマ

こんもりとした山々、なびいたまま時が止まってしまったかのような木々。家の塀は屋根にまで届きそうなくらい高く、集落の人の話すボリュームは少し大きめ。そんな戸円集落は四季折々の風を感じられる場所。

春の暖かい風は山の木々を新緑に染め、まばゆい夏の風は広く青い空を描く。秋風が吹きだすと作物の収穫時期を知らせ、冷たく強い冬の風は白波のしぶきを集落まで運んでくる。目に見えない風は、物のカタチを変え、人の暮らしを変え、鮮やかな色となって集落を彩っていく。

また、秋の戸円集落は夕日のスポットとしても有名だ。10月中旬頃になると海岸から鋭く突き出した岩に太陽がかかり、ローソクの灯りがともったような幻想的な景色を見ることができるのだ。その神秘的な光は、どんな力にも負けることのない勇気をもらえる気さえする。さらに、太陽が沈んだ後には満点の星が空に輝き、天の川が視界に収まりきれないくらいに広がる。

風のシマ、戸円集落。そこに吹く幸せの風は集落を覆う雲をもぬぐい、他では見ることのできない景色を運んできてくれるのだ。



【サーフィンスポット】
風の強い戸円集落は、絶好のサーフィンスポット。干潮時にできるポイント。

【ローソク岩の夕陽】

名音
なおん

人　口：184人
世帯数：108

人との出会いの場

出来る人が、出来る時に、出来ることをする。そんな看板を掲げて活動するのは、名音集落の「ていだの会」だ。

週末、お昼2時にオープンするこの場所は集落の方々の憩いの場所。近所のおばあちゃんからコーヒーショップと呼ばれて親しまれ、ワンコインで楽しい会話と美味しいお茶が楽しめることもあって、沢山の人が集まってくる。

季節によっては近くの福元盆地でとれたおいしいお芋や果物などが楽しめ、隣のシマから自転車で通う人もいるほどだ。

心もお腹も満たされ、楽しいひと時を過ごしたら高台にある「テラ」と呼ばれる場所に登ってみよう。ここは、集落を一望できるほど見渡しがよく、ノロの祭祀「ガンノーシ・ガンダテ（願直し・願立て）」が行われる神聖な場所だ。

豊年祭もこの場所から始まり青年団の代表が集落に向って「スモー・スモー・スモー」と大声で集落に叫んだら祭りの始まりの合図となる。その後は公民館前の土俵で、今年一年の農作物の収穫を祝い、集落の無病息災に感謝する相撲が行われる。昔から伝わる大切な行事を何十年も繰り返し、人との出会いを大切にする名音集落。この集落にはたくさんの「大切」が折り重なっている。

【ガンノーシ・ガンダテ】
集落の無事と豊作を願って前年に立てた願を感謝の気持ちを込めて解き、さらに一年の安全と豊穣を願って願を立てる儀式のことで毎年旧暦9月9日に行われる。

【名音川で川遊び】

志戸勘
しどかん

人　口：7人
世帯数：6

大切な暮らし

大和村11集落の中で、一番小さな志戸勘集落。
そこには言葉でうまく伝えきれないものが本当にたくさんある。

小さな土俵に、大切に守られてきたトネヤ、それらを覆い被さるように育つガジュマルの樹。
澄んだ空気に、やさしく照らす陽の光。ピーンと張りつめた空気はどこか神秘的で思わず背筋を伸ばしてしまった。

ここでは、目に見えるものも、目に見えないものも、すべての力がむきだしで心の奥底に語りかけてくる気さえする。

野に咲く草花も、道ばたに転がる石さえも特別な存在に思えてしまうから不思議だ。

潮が引けば漁に出て、果実が実れば収穫する。
自然に寄り添い、恵みをいただく暮らし。

手を取り合い、助け合いながら生きる暮らし。

当たり前のようで、なかなか出来ないこと。

ここには、私たちが忘れかけている大切な暮らし方がある。

【トネヤ】
ノロの住居。ノロ（祝女）は女司祭。ノロ行事にも使用される。

【志戸勘海岸】
冬場の大潮の干潮時には、沖合のリーフで「イザリ」という伝統的な潮干狩りできる海岸。
貝やタコなど、普段は海底にいて、なかなか捕まえることのできない獲物を、拾うようにして捕まえることができる。

今里
いまざと

人　口：94人
世帯数：56

シマを見守り続ける島

今里集落は大和村の最西端、急峻な山々に囲まれ、沖合には集落のシンボル的存在の今里立神（たちがみ）が佇んでいる。

立神はネリヤカナヤから来た神様が最初に立ち寄る場所として、奄美では古くから信仰の対象とされてきた島だ。集落もこころなしか立神に向かって弧を描くように形成され、ほとんどの通りから立神が見渡せるようになっているのも興味深い。奄美でも一際大きな立神があるこの地には、「オムケ・オホーリ」というノロの祭祀がある。この祭祀は海の彼方にあるとされる神の国「ネリヤ」から神様をお迎えし、集落に神様を招き入れることにより人々の健康と集落の平和を祈願する神事で今でも大切に受け継がれている。

また、今里集落は大和村で初めて鰹漁業を行ったという歴史があり、明治から昭和へと漁業の町として栄えていた場所でもある。時代の流れにより今では鰹漁業は行っていないが、かつては多くの帆船が大海原へ船を進め、命がけの漁をこなしていた。

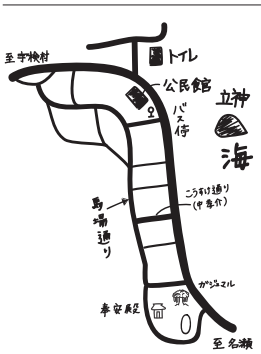
彼らにとって故郷の立神を見たときはどれだけ、ホッとしたことだろうか。

昔も今も、これからもずっと。今里集落の沖合に佇む立神は変わることなく人々を見守り続け、故郷のシンボルとして輝き続けるだろう。

【立神】
大和村に限らず、奄美各地に点在する信仰の対象となる小島。

【ノロ】
琉球王国時代に、王府から任命を受けた女司祭。世襲制で集落の祭祀をとりしきっている。

【昭和30年頃の鰹漁漁師】



0分 国直集落からの車での移動時間　ガ ガソリン　トイ トイレ　シャ シャワー　病 病院

わたしの
大和村
マップ
位置図
鹿児島県
大島郡
大和村
奄美群島
吐噶喇列島
嶺山公園
戸円ふれあいパーク
大金久
おおがねく
15分
戸円
とえん
徳浜の断崖
24分
名音漁港
名音
なおん
29分
今里漁港
今里
いまざと
37分
志戸勘
しどかん
34分
奄美フォレストポリス
湯湾岳
宇検村へ
夕陽スポット
宇検村へ

巡るぐるぐるシマあるるき

集落ごとに違う雰囲気が楽しめる大和村。
一歩集落に入ると面白い発見がたくさん!!
あなたの発見を(#)ハッシュタグをつけて
インスタグラム(SNS)などに投稿しよう!!
ハッシュタグは『#巡るぐるぐる大和村』
何を投稿するかはあなたの自由。
みんなで素敵な大和村を共有しよう♪

防波堤の絵がカワイイ!
＃巡るぐるぐる大和村　＃津名久

砂遊び最高～♪
＃巡るぐるぐる大和村　＃国直

スモモ♡おいしい!
＃巡るぐるぐる大和村　＃スモモ

かわいいクロウサギ
＃巡るぐるぐる大和村　＃思勝

何があるか楽しみ♪
SNSでみんなに見てもらお♪

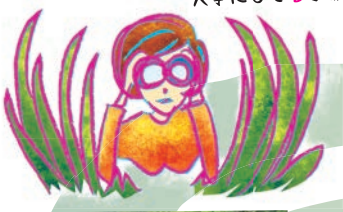
ヒカンザクラに囲まれた公園
＃巡るぐるぐる大和村
＃フォレストポリス

きれいにかかる虹
＃巡るぐるぐる大和村　＃虹

カワイイおばちゃんが
たくさんいるなぁ♥

畑しごとに向うおばちゃん
＃巡るぐるぐる大和村　＃大和浜

村の人たちは色々な事やモノを
大事にしてるなぁ



きれいなお庭
＃巡るぐるぐる大和村　＃志戸勘

お店のレジはソロバンで
＃巡るぐるぐる大和村　＃戸円

歩いてみたら
色んな発見があるな♪

手書きで願いを込めて
＃巡るぐるぐる大和村　＃名音

浮きが沢山のお家？
＃巡るぐるぐる大和村　＃大棚

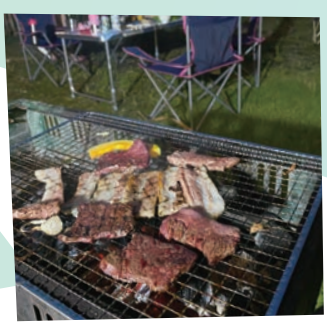
不思議な形のパパイヤの木
＃巡るぐるぐる大和村　＃大金久

スモモスペシャル／タンカンスペシャル
＃巡るぐるぐる大和村
＃大和まほろば館

大きなキハダマグロ!!
＃巡るぐるぐる大和村
＃キハダマグロ

カフェでオムライスカレー!
＃巡るぐるぐる大和村　＃戸円

いろんな種類のハブ注意
＃巡るぐるぐる大和村　＃今里



夕日を見ながらBBQ
＃巡るぐるぐる大和村　#BBQ

子どもも大人も、村人も旅人も。同じ夕陽を見る。

淡朱色に輝き変化する夕空を、
海に入りながら見ていた。
視界は刻一刻と変化する色彩で満たされ、
身体は温かな海水に浮かんでいた。
ふと、夕陽が人々のこころを掴んで離さないのは、
もしかして、胎内にいた時に見ていた、
母のお腹の内側から感じていた世界のいろを
思わせるからなのかな、と思う。
心地よい羊水のような母なる海に身体を委ねて、
優しい気持ちが広がっていく。
金色の太陽の沈みゆく輝きは、
人も鳥も虫も草花も、
また、仲間と楽しく笑っていても、
一人淋しく泣いていても、
全てを等しく照らして、
今日という日を明日に送り届けてくれる。
夕陽の側から見てみたら、
子どもも大人も、村人も旅人も、
こちらを向く全ての顔に
去り際の煌めきと励ましを与えている。
大いなる母に感謝の気持ちを届けるように、
今日の一日よ、どうもありがとう。
振り返ると月が出ていた。

	見頃時期	スポット
1	5月～10月	国直サンセットパーク
2	5月～10月	国直海岸
3	9月～10月	嶺山公園
4	5月～7月 10月～11月	戸円ふれあいパーク
5	7月～9月	名音海岸
6	7月～8月	今里漁港

戸円ふれあいパーク

戸円ローソク岩（10月中旬）

嶺山公園

国直サンセットパーク

文／小田島 智美
写真提供／里村 強志

やまとのあゆみ

大和村の由来

日本の古語に「大和は国のまほろば」という言葉があります。「まほろば」の意味は、国の中で一番すばらしく住みよい場所と解釈されていますが、私たちの村はいつから「大和」になったのかは不明です。

奄美が琉球王朝の統治下になった時には、すでにこの辺りは大和と呼ばれていました。大和村資料の浦内沿革誌によると、奈良時代の浦内湾（思勝湾）は遣唐使船の水や食料の補給地で、世話をしていた大和人が現在の大和浜集落に常駐していたため、いつしか人々はこの地を大和と呼ぶようになったと記載されています。

シマの構造

大和村の面積のほとんどが山林原野に覆われており、全面には揚々たる東シナ海を見て、背後には豊かな照葉樹林の森が緑のクッションのように集落を守っています。大和村の人々はこの豊穣の海や山からの恩恵を受けて生きてきました。

奄美では集落のことをシマといいます。シマのカミヤマには、キッキョと呼ばれる水源地があり、水源林として立ち入りや木の伐採は固く禁じられていました。さらにカミヤマから神道が集落内を通り海に出るまでに、ミャーといわれる広場に隣接するアシャゲやトネヤという神屋敷や、豊年祭に相撲を奉納する土俵があります。現在は公民館がミャーの役割を果たしている集落が多く、土俵も公民館に併設されています。

糖業開祖の父 直川智（すなおかわち）

1610年頃に大和浜集落出身の川智なる青年が、中国から持ち帰ったサトウキビの苗を育て、黒糖を作りました。その後、各地へサトウキビ栽培が広がり、今日では製糖業が奄美群島の重要な基幹産業となっています。この黒糖が薩摩藩時代には税の対象となり苦難な時代になったこともありましたが、日本で最初にサトウキビを栽培し、黒糖生産に大きな功績を残したとして、明治13年日本糖業の始祖として川智は国から表彰を受けました。また大和村は川智の功績を称え、明治15年にひらとみ神社を建立。現在では奄美の糖業関係者の本尊としての役割も果たしているようです。

小さくとも 光輝く村

大和村はこれまでに2度、近隣町村との合併について話題が上がりましたが、村民は大和という名に強い愛着があり合併は実現しませんでした。人々は集落への郷土愛も強く、尋ねたらきっとシマ自慢をしてくれるはずです。

小さな村の11集落、それぞれのキラリと光る特色を感じながら歩いてみてください。

文 中山 昭二
大和村文化財保護審議員

大和村集落まるごと体験協議会は、
地域ぐるみでお客様をもてなし、地域コミュニティの活性化をはかるために2019年に設立された観光協議会です。
大和村には、親戚の家に遊びに来たような、ホッとする、ひと時がそこにあります。
私たちの普通で美しい亜熱帯の村へ、ちょっと長めの休みを取ってきてみませんか？

生活と自然が密着したシマ暮らし
海辺で楽しむ
SUP&シュノーケリングツアー
プカプカ泳ぎ釣りツアー
シーカヤック周遊ツアー
船で海釣り体験

亜熱帯の森の中で
里山で遊ぶ
宮古崎バイクツアー
タナガ獲りツアー
すもも狩りツアー
たんかん狩りツアー

奄美独特の暮らしの中へ
集落で遊ぶ
夕焼けビールツアー
国直ビーチヨガ
海の宝石クラフトツアー
八月踊り体験

南国の郷土の味を自分の手で
島料理を楽しむ
ミキ作り
フツモチ作り
正月のうわんほね作り

上記以外にも、季節ごとのアクティビティをご用意しております!!

集落で楽しいひと時
大和村に泊まろう

さんごビーチ
1泊2食付き8,800円(お一人様)

中村荘
1泊2食付き6,500円(お一人様)

民宿てるぼーず
1泊2食付き6,500円(お一人様)

ゲストハウス **フクギの宿**
素泊まり一棟15,000円(1～5人)

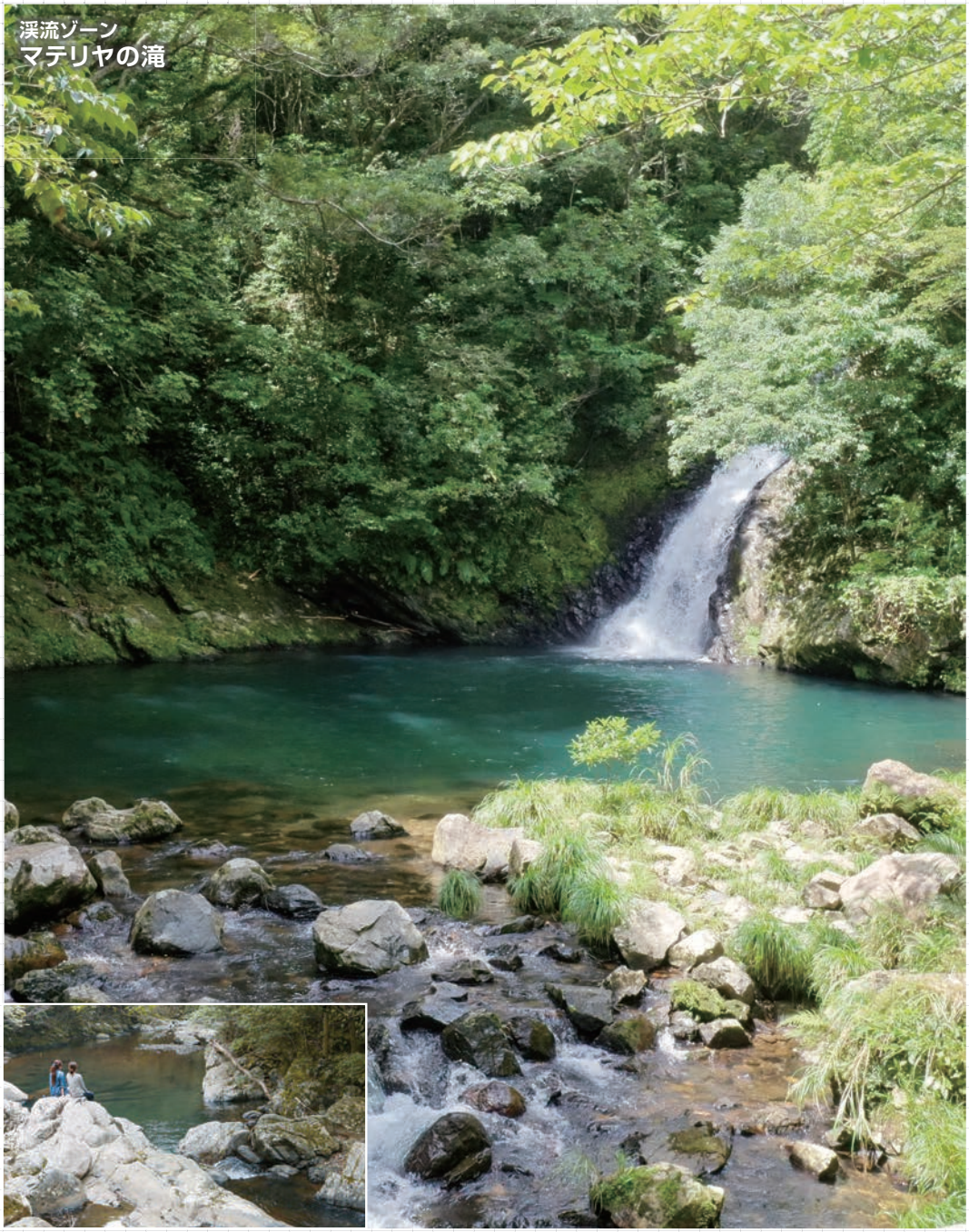
やすらぎの宿 **大和荘**
1泊2食付き7,000円(お一人様)

ゲストハウス **浜んちゅ**
素泊まり3,500円(お一人様)

ヒエン浜ゲストハウス
素泊まり一棟 6,000円／人

奄美フォレストポリス
バンガロー
素泊まり一棟レンタル
(1～6人利用可能) 5,000円
+大人1,000／人
キャンプ
一張レンタル 500円
+大人1,000円／人

ご予約・お問い合せ
大和村集落まるごと体験協議会
事務局 NPO法人 TAMASU
電話 0997-57-2828
E-mail info@amami.org
ホームページ
amami.org



奄美フォレストポリス

大和村役場を通りすぎて、毛陣トンネルを通り抜けると大棚。トンネルを抜けてすぐに村道大棚名音線への曲がり道あり。

P 有

有

国内で 2 番目の規模を誇るマングローブ林の主水系で、多種多様な動植物が観察できます。琉球王朝統治期から旅路の中継地として利用され、旅人や飛脚はこの滝で疲れを癒したと言われています。マティダヌコモリという太陽の滝つぼを意味する島口がその名の由来で、真上から太陽がふりそそぐ正午頃には、うっそうと茂る木々の中で名前のとおり滝つぼが美しく輝きます。

アスレチックなどの遊具、サーキット場のバッテリカーなど親子で遊ぶことができます。ヒカンザクラの季節（1月下旬頃）はお花見もおすすめ。

キャンプサイトではテントを立てて宿泊することもできます。テントのレンタルも可能です。

バンガローなどでバーベキューを楽しむことができます。

※フォレストポリス内は奄美群島国立公園に指定されています。火の始末など利用のルールとマナーに気を付けましょう。

奄美ではここだけ、トゥクトゥに乗ってガイドが案内する大迫力のナイトツアーを体験することができます。アマミノクロウサギなど希少な生きものに出会えるかも!?

施設詳細

公園内は「ふれあいゾーン」、「水辺のゾーン」、「渓流ゾーン」の３つのゾーンからなり、森の中の自然体験学習やスポーツ合宿など自然とのふれあいが楽しめるキャンプ場も整備されています。お昼は食堂でお食事もできます。

開館時間	9：00 ～ 18：00（宿泊は 15 時 ～ 翌日 10 時）
休館日	毎週月曜日※月曜日が祝祭日の場合は火曜日が定休 ／ 年末年始
住所	〒894-3212 鹿児島県大島郡大和村大字名音 1476
電話	0997-58-3166

観光スポット

宮古崎（みやこざき）

奄美市名瀬方面から国直集落に入る手前
駐車場から岬までは徒歩20分

P 有

有

岬から東シナ海を一望できる。岬全体に生い茂るリュウキュウチクの風になびく音がとても神秘的。
日本でここでしか見ることができない風景を体感できる。

湯湾岳（ゆわんだけ）

フォレストポリスから駐車場まで車で20分
駐車場から頂上まで徒歩15分

P 有

無

頂上付近からの眺め

標高 694.4m 奄美最高峰の湯湾岳。奄美の森の深さと大自然を体感することができる。
駐車場から 15 分程度ボードウォークを歩けば、山頂付近の神社に到達できる。

国指定天然記念物
オキナワウラジロガシ林

大和浜集落の裏山にある砂防ダム横の階段から徒歩10分

P 有　無

大和浜集落の聖域として、集落民に大切に守られてきた神山。奄美大島が北限域であるオキナワウラジロガシの自然林として学術的価値も高い。

みねやまこうえん
嶺山公園

大金久集落と戸円集落の間で駐車場から展望台までは徒歩5分

P 有　有

展望台からの眺めは圧巻。晴れた日には小宝島を見ることができる。壇之浦の戦いで敗れた平家の落人が奄美に逃避し、源氏の追討から逃れるため、嶺山の山頂に見張番所を設けたと言われている。

ぼれぐら
群　倉

大和浜集落の県道沿い

P 有　無

先人たちの生活の知恵から生まれた高倉（収穫した穀物等を貯蔵する倉）の集合体。使用されていた当時のままの姿で保存されている。

どくばまのだんがい
徳浜の断崖

名音トンネル入口付近

P 無　無

高さ約172mの断崖。800年程前の大地震でできたと言われる。海との組み合わせは迫力満点。

自 然

古い時代に接合、隔離を繰り返し孤島化して、一度も海没しなかった奄美大島。
そのため動植物たちは独自に進化を遂げ、極めて貴重な固有種が多く生息しています。
『東洋のガラパゴス』とも表現される奄美大島では、いたるところで『ここだけの出会い・体験』が待っています。

国指定天然記念物
昼行性 **オーストンオオアカゲラ**

体の上面はほぼ全体が黒色で、オスのみ頭の上側が赤くなっている。キツツキの仲間で、繁殖期にはくちばしで連続的に樹の幹をつついて音を出すドラミングという行動がよく見られる。体長約30cm。

生息地 山地のよく茂った森林内 奄美大島《固有種》

国指定天然記念物・鹿児島県 県鳥
昼行性 **ルリカケス**

瑠璃色と茶色の美しい配色の羽根。
鳴き声は見た目とは裏腹にギャーギャーと騒がしい。
体長約38cm。

生息地 山地のよく茂った森林内やその周辺の農地
奄美大島、加計呂麻島、請島《固有種》

夜行性 **ハブ**

奄美で昔から恐れられている毒ヘビ。奄美では森の守り神として言い伝えられている。暖かくなると活動が活発になるので山地に入る際には十分な注意が必要。体長最大約240cm。

生息地 森林・草原・水辺・農地
奄美群島
沖縄本島周辺《固有種》

国内希少野生動植物種
夜行性 **アマミヤマシギ**

主に夜間に活動、昼間は林内の枝上で休息し、日没から活発に動き回る。
人を見てもあまり恐れず、近づいても飛ぶことなく走って藪内に隠れることが多い。体長約36cm。

生息地 山地の薄暗い林
奄美群島及び沖縄諸島《固有種》

国指定天然記念物・国内希少野生動植物種
昼行性 **アカヒゲ**

体は小さいが、とても大きく美しい声で鳴く。
体長約14cm。

生息地 渓谷や渓流の周辺
奄美群島《固有種》

県指定天然記念物
夜行性 **アマミイシカワガエル**

背中の緑色の地に金色の斑点模様は、
『日本一美しい』と言われている大型のカエル。
体長約8.8 ～ 11.7cm。

生息地 山地を流れる渓流の周辺
奄美大島《固有種》

国指定特別天然記念物・国内希少野生動植物種
夜行性 **アマミノクロウサギ**

ずんぐりむっくりした体つき、短い耳、短い足、そして長く伸びた足のツメなど原始的な姿を残していることから「生きた化石」と呼ばれている。島民もなかなか出会うことがない。体長約42 ～51cm。

生息地 山地や海岸の斜面　奄美大島・徳之島《固有種》

イラスト © 島ノコタチ アートワークス

写真提供：奄美群島国立公園管理事務所

環境省 奄美野生生物保護センター

入館料 無料

奄美群島の生物や自然を保護するために設立された環境省の施設。希少な野生生物に関する調査・研究。さらに「奄美・琉球」の世界自然遺産登録に向けた取り組みなどを総合的に行う。奄美群島固有の動物の標本や映像で奄美大島の自然を感じることができる。

開館時間	9：30 ～ 16：30
休館日	毎週月曜日 ※祝日を除く／年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
住所	〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551番
電話	0997-55-8620

お土産

大和村の特産品「すもも」「たんかん」を原材料とした加工品を中心に販売。
地元農家が直接持ち込む季節野菜も販売しており安価で購入することができます。
気軽に地元の方々とのコミュニケーションがとれ、『果樹の村 大和村』の食を満喫できる施設です。

すもも

収穫時期 5月～6月

別名「奄美プラム」。ガラリ種生産量日本一の大和村のすももは、皇室献上の栄誉を賜った名産品。本州産のものと比べるとやや小粒だが、熟すと果皮もしなやかになり、独特な甘い渋みがなんとも美味。

たんかん

収穫時期 2月～3月

「ポンカン」と「オレンジ」の自然交配で出来たといわれている柑橘果物。普通のミカンに比べると、見た目も大きく、糖度が高く甘くて濃厚な味わいが特徴的。大和村福元盆地産のたんかんは、島内でもなかなか流通しない貴重なたんかん。

果樹の村 大和まほろば館

加工食品、地場産野菜の他にも地元支え合いグループ手作りによる縫合品・地元原産のクマタケランを使用した自然派コスメなども購入することができる。夏場は「すももドリンク」「たんかんドリンク」をシロップ代わりに使用したかき氷やソフトクリームがおすすめ。

開館時間	9：00～17：00 ※ソフトクリームは、閉館15分前にオーダーストップ
休館日	年末年始 ※喫茶コーナー（ソフトクリーム販売）は、毎週水曜午前中休み
住所	〒894-3106　鹿児島県大島郡大和村大棚49番地
電話	0997-57-2980

移住者の声

「大和村に住んでみたい」「大和村で仕事をしてみたい」という考えが、ふと頭にうかんだあなた。
そんなあなたへ先輩移住者からのアドバイス。

竹下 佳代子

在村歴3年 国直集落在住
1967年生まれ 東京都出身
国直海岸でカフェバー Bellsea をご夫婦で経営しながら、ヨガ講師としても活躍中。

Q. 移住のキッカケは？
サーフィンや釣りが楽しめる南の島を探していました。
他の島へターンした経験をいかし、
ちょうど良い田舎を探して奄美を見つけました。

Q. 移住を決めるまで奄美に来た事は？
2週間、お家を探しに来島しました。
集落の人と会話して、住む家を決めました。

Q. 集落の生活はどうですか？
パラダイスです。
趣味も楽しめる理想の生活。
必要な物も車で20~30分走れば手に入ります。

Q. 実際に住んでみて困った事は？
ないですね。しいて言えば、集落の先輩方が早口でしゃべると、会話の2割くらいしか理解できないことですかね（笑）

Q. お休みの日は何をしていますか？
お店をほぼ年中無休で開店しています。
でも、空いた時間にサーフィンをしてリフレッシュしています。

Q. 大和村の好きなトコロは？
国直のサーフィンできるポイント。海を独り占めできます。

【移住を希望する方へのアドバイス】
地元の人とたくさんコミュニケーションをとることが大切かな。
ほどよく移住者もいるので、移住者同志の付き合いもあります。
気軽に来たらいいと思います。

白石 聡

在村歴6年 戸円集落在住
1976年生まれ 大阪府出身
奄美市で『ジビエ居酒屋 らいおんの穴』を経営しながら、集落の壮年団長としても活躍中。

Q. 移住のキッカケは？
子どもを育てるのに良い環境だから。
嫁が家族で住む場所を探して
日本中を旅した中で決めました。

Q. お仕事はどうやって決めましたか？
先ず住む事を決めて、それから縁あって、
マングースバスターズの仕事をはじめ
2017年に奄美市で飲食店をオープンしました。

Q. 集落の生活はどうですか？
都会とは真逆ですね。
都会では子どもがはしゃいでると煩わしがられてたけど、
ここでは元気が出るって喜んでもらえます（笑）

Q. 実際に住んでみて困った事は？
集落の色んな仕事を引き受け過ぎて、
楽しいけどちょっと大変な時もあります。

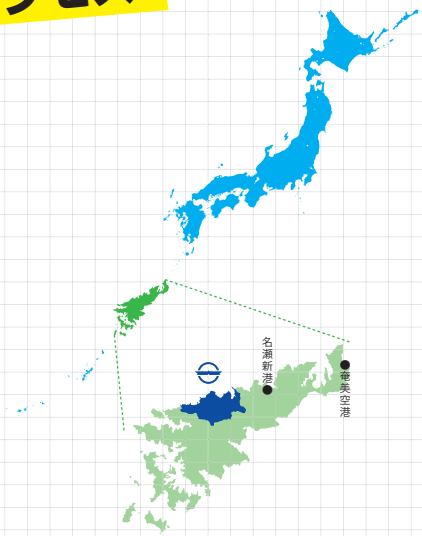
Q. お休みの日は何をしていますか？
今は畑を見に行ったり、鶏や犬の世話をしたり、
海に潜って魚を獲ったりしてます。

Q. 大和村の好きなトコロは？
戸円集落入り口の坂道。
帰って来たって思えてホッとします。

【移住を希望する方へのアドバイス】
住むのであれば、面倒くさがらずに、
集落の人の中に飛び込むと面白いですよ。
色んな事が繋がっていきます。

移住担当窓口 **大和村役場 企画観光課**
電話 0997-57-2117
受付時間 8:30～17:15
住所 〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

アクセス



フェリー

琉球エクスプレス（マルエーフェリー）
大阪から（約32時間）

クイーンコーラル８（マリックスライン）
クイーンコーラル（マリックスライン）
フェリー波之上（マルエーフェリー）
フェリーあけぼの（マルエーフェリー）
鹿児島から（約11時間）

フェリーきかい（奄美海運）
フェリーあまみ（奄美海運）
鹿児島から（約13時間40分）

飛行機

ピーチ
成田空港（約165分）
関西空港（約105分）

日本航空
羽田空港（約150分）

日本航空
伊丹空港（約110分）

日本エアコミューター
福岡空港（約85分）

日本エアコミューター
鹿児島空港（約50分）

スカイマーク
鹿児島空港（約50分）

琉球エアーコミューター
沖縄那覇空港（約65分）

バス時刻表

奄美市名瀬市街地発 大和村行き

	鹿児島県立大島病院	→	大和村 今里集落
平日	7:50		9:05
	10:55		12:10
	13:05		14:20
	17:05		18:20
	19:10		20:20

	鹿児島県立大島病院	→	大和村 今里集落
土日祝日	8:30		9:45
	13:03		14:18
	17:30		18:45

※奄美市内の停留所で降車することはできません。
奄美市内では乗車のみ可能です。
※詳細な時刻表と停留所は、QRコードを読み取りご確認ください。

大和村発 奄美市名瀬市街地行き

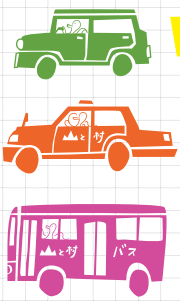
	大和村 今里集落	→	鹿児島県立大島病院
平日	5:50		7:05
	6:31		7:46
	9:50		11:05
	13:30		14:45
	15:18		16:33

	大和村 今里集落	→	鹿児島県立大島病院
土日祝日	6:40		7:55
	10:25		11:40
	15:00		16:15

※奄美市内の停留所で乗車することはできません。
奄美市内では降車のみ可能です。
※詳細な時刻表と停留所は、QRコードを読み取りご確認ください。

詳細時刻表

詳細時刻表



奄美空港

バス
レンタカー
タクシー
約50分

奄美市名瀬

※奄美空港からのバスの乗り継ぎは、ホテルウェストコート前

バス
レンタカー
タクシー
約35分

大和村

今里 — 3分 — 志戸勘 — 5分 — 名音 — 5分 — 戸円 — 9分 — 大金久 — 2分 — 大棚 — 8分 — 大和浜 — 1分 — 思勝 — 1分 — 津名久 — 2分 — 湯湾釜 — 1分 — 国直

イベント情報

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

スモモ

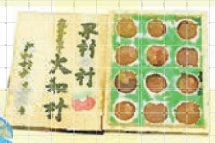
マンゴー

タンカン

スモモの花

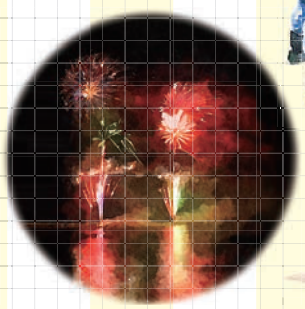
なんと大和村は
スモモ（ガラリ種）の
生産日本一!!

皇室にも献上してるんだよ!!



大和村イベント

●まほろば大和ウォーキング大会
1月最終日曜日



●村民体育大会
10月中

●宮古崎つつじウォーク
3月第2日曜日

●ひらとみ祭り
8月最終日曜日

●ひらとみ朝市
12月28日

集落行事

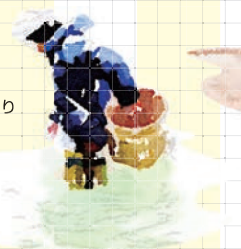
●正月祝い
●セックノヨエ・フナヨエ
●ナンカンゼック

●サンガツセック

●ゴガツセック

●七夕（旧暦）
●お盆（旧暦）

●ガンノーシ・ガンタテ
●ドゥンガ

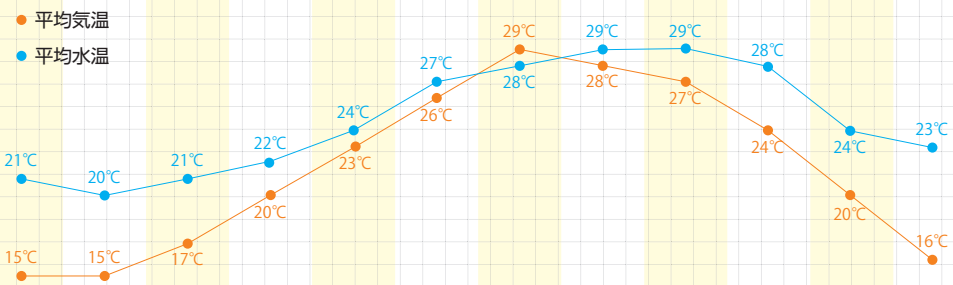


●山の神祭り

ムチモレ踊り●

十五夜豊年祭●
アラセツ●
シバサシ●
キトバレ踊り●
クガツクンチ●

平均気温・平均水温



※大和村イベント・集落行事の詳しい日程は、大和村役場ホームページ内〔イベント情報〕でご確認ください。 https://www.vill.yamato.lg.jp/

施設情報

名　称	電　話	営業時間	定休日
商　店			
元田商店（湯湾釜）	0997-57-2505	7:00~21:00	不定休
林商店　（津名久）	0997-57-2250	7:00~21:00	不定休
和泉商店（思勝）	0997-57-2125	7:00~19:00	不定休
浜崎商店（大和浜）	0997-57-2007	7:00~21:00	不定休
大棚商店（大棚）	0997-57-2002	7:30~12:30　15:00~19:00 ※5月~8月末 20:00まで	1月1日~3日
窪山商店（大棚）	0997-57-2845	7:00~19:00	不定休
篠原商店（戸円）	0997-58-3067	6:30~19:00	無休
和田商店（名音）	0997-58-3018	7:00~21:00	1月1日~3日
園田商店（名音）	0997-58-3006	7:00~19:00	不定休
お食事処			
喫茶工房てるぼーず（国直）	0997-55-8070	9:00~19:00	無休
Bee lunch（国直）	090-7720-1308	11:00~20:00	不定休
八方園（大和浜）	0997-57-2201	11:00~19:00	無休
ウェスターナーズカフェ（戸円）	0997-56-6260	9:30~18:00	無休
マテリャー茶屋（フォレストポリス）	0997-58-3166	11:30~14:30	月曜日
ドライブインママ（思勝）	0997-57-2431	11:00~13:00	不定休
宿泊施設			
民宿 中村荘（国直）	0997-57-2433		
民宿 さんごビーチ（国直）	0997-57-2580		
喫茶工房民宿 てるぼーず（国直）	0997-55-8070		
ゲストハウス フクギの宿（国直）	kuninao.com ※ホームページよりご予約ください		
大和荘（大和浜）	0997-57-2023		
奄美フォレストポリスキャンプ場	0997-58-3166		
ゲストハウス 浜んちゅ（大和浜）	080-5208-6646		
ヒエン浜ゲストハウス（戸円）	airbnb.jp ※こちらからご予約ください		
給油所			
畑島石油店（大和浜）	0997-57-2436	7:00~19:00	
大棚商店（大棚）	0997-57-2002	7:30~12:30　15:00~20:00	
郵便局（ATM営業時間）			
名音郵便局（名音）	0997-58-3042	[平日]8:45~18:00　[土]9:00~12:30	日曜日
大和郵便局（思勝）	0997-57-2542	[平日]8:45~18:00　[土]9:00~17:00 [日祝祭日]9:00~15:00	日曜日
病　院			
国民健康保険大和診療所（大棚）	0997-57-2053	8:30~17:15	土・日曜日
大和村今里へき地出張診療所（今里）	0997-58-3004	13:30~14:30	月・金以外
役　場			
大和村役場（大和浜）	0997-57-2111	8:30~17:15	土・日曜日

発行 ／ 大和村　　企画・制作 ／ 一般社団法人 Shall we Design